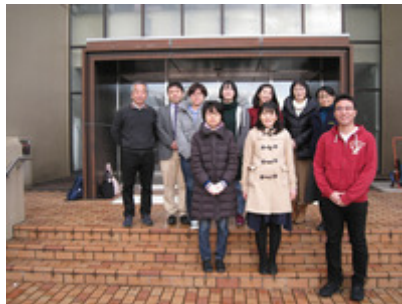


里親学生支援事業としての8回目の卒業生を送り出しました

2019年3月27日

平成31年3月8日(金)に平成30年度滋賀医科大学卒業式が挙行され、里親学生支援事業としては、8回目の卒業生(医学科10名、看護学科3名)を送り出しました。

学生達が、それぞれの新しく進む道で活躍し、また、今度は自分たちが里親となり、後輩たちを支援してくれればと期待しています。



地域理解・交流事業「宿泊研修」日程決定（平成31年3月18日～19日開催）

2019年2月28日

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程

～高島市方面の医療と歴史・文化を学ぶ～

●3月18日(月)1日目

滋賀医科大学(出発)〈8:30〉

↓

特別養護老人ホーム清風荘(説明・研修)〈10:30～11:30〉

↓

今津サンブリッジホテル(昼食)〈11:45～12:45〉

↓

今津病院(説明・研修)〈13:00～14:00〉

↓

マキノ病院(説明・研修)〈14:30～15:30〉

↓

メタセコイア並木(見学)〈15:40～16:00〉

↓

17:30～18:30 交流会〈第1部〉講演/意見交換等

・「湖西地域の医療福祉の現状と課題(仮題)」

高島市健康福祉部健康推進課 課長 青谷 光恵 氏

・「高島市民病院の産科医療、高島地域の産科医療(仮題)」

高島市民病院 3階東病棟 看護師長 岡田 裕子 氏

18:45～20:45 交流会〈第2部〉学生報告会/懇談/会食

20:45～ 学生交流会

●3月19日(火)2日目

今津サンブリッジホテル(出発)〈9:00〉

↓

琵琶湖周航の歌資料館(見学)〈9:10～9:30〉

↓

藤樹書院跡(見学)〈9:50～10:40〉

↓

特別養護老人ホームふじの里(説明・見学)〈10:50～11:50〉

↓

道の駅藤樹の里あどがわ(昼食)〈12:00～12:50〉

↓

高島市民病院朽木診療所(説明・見学)〈13:30～14:30〉

↓

高島市民病院(説明・見学)〈15:15～16:15〉

↓

道の駅妹子の郷(休憩)〈16:45～17:00〉

↓

滋賀医科大学(解散)〈18:00頃〉

↓

瀬田駅(希望者ありの場合)

滋賀医科大学『地域「里親」学生支援事業』記念シンポジウムを開催しました

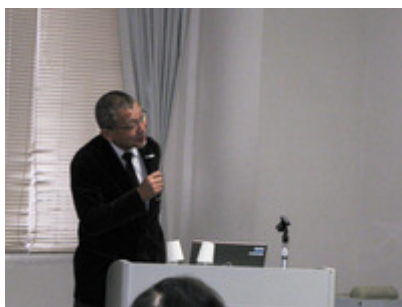
2019年2月26日

里親学生支援室では、2019年2月10日(日)に『地域「里親」学生支援事業』の10年を振り返り、今後の滋賀県の医療の担い手である医師・看護師育成の取り組みを展望するために、本学及び認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構が共催し、シンポジウムを開催しました。

学長の挨拶、埜田室長による事業報告の後、各方面からお招きしたシンポジストの方々に、短い時間ではありましたがそれぞれのお立場からテーマに沿った形で、現状の報告や今後の方向性などスライドを交えてご講演いただきました。



滋賀県健康医療福祉部 理事 角野 文彦 氏からは、行政の立場から滋賀県における安定した医師確保システム、働きたいと思える魅力ある病院づくり、女性医師の働きやすい環境づくりなどについてお話いただきました。



滋賀県医師会 理事 木築 野百合 氏からは、県内の医師の偏在の実情をご説明いただき、また女性医師の重要性や働き方改革、災害時の滋賀県独自の医療体制の必要性についてもお話いただきました。



滋賀県病院協会 監事 楠井 隆 氏からは、深刻な県内の医師・看護師の地域偏在の実情を、具体的に表やグラフを使ってご説明いただき、超高齢社会への対応や総合診療医の不足などについてお話しいただきました。



滋賀県看護協会 会長 廣原 恵子 氏からは、看護師の実情と看護職が生涯を通して働き続けられるための環境作りの大切さなどについてお話しいただきました。



シンポジウム終了後には、懇親会を開催し、各医療関係者や行政・里親・プチ里親・里親登録学生などが交流し、今後の参考となるような貴重なご意見等をいただくなど、活発な意見交換の場となりました。

医療関係、行政、里親・プチ里親、各種団体の方など、約40名のご参加をいただき、大変有意義なシンポジウムとなりました。

お忙しい中ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。



マイク・フェターズ先生講演会「家庭医の基礎～全ての学生が知っておくべきこと～」が開催されました

2019年2月21日

2月15日（金）滋賀医科大学構内にて、米国ミシガン大学 家庭医療学科教授マイク・フェターズ先生をお迎えし、家庭医療講演会が開催されました。

マイク先生は日本語が堪能で、医学生が知っておくべき家庭医の基礎について、米国における家庭医の役割や診療の様子を日米の違いも交え、日本語でお話しいただきました。

その後、約15名の参加者とのディスカッションが活発に行われ、大変盛り上がりました。



【開催案内】第5回滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会(1/17)

2018年12月26日

滋賀県医師キャリアサポートセンターから、懇談会開催のお知らせです。

参加希望の方は、キャリアサポートセンターまで、氏名・学年を添えてメールで申し込みください。

記

日 時： 平成31年1月17日(木) 18:00～(1時間程度)
会 場： 滋賀医科大学 JAMLTリップルテラス3階(外来患者用駐車場南側)
滋賀県医師キャリアサポートセンター室

講 師： 滋賀医科大学医学部附属病院 眼科学講座
助教 南川 貴之 先生

略 歴： 2003年3月 滋賀医科大学卒業
2003年5月 滋賀医科大学眼科入局
2004年4月 近江八幡市民病院眼科医員
2006年11月 滋賀医科大学眼科学講座 助教

テーマ：『15年目の眼科医 -私のキャリアパス-』

参加費： 無料
対 象： 医学生

医学生からの質問や相談もお受けします。
この機会に気になること、知りたいことを先輩医師にお聞きしてみませんか？
本学以外の医学生の方も大歓迎です。
皆さまのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は下記の連絡先まで、学年・氏名をご記入の上
メールでお申し込みください。電話でも受け付けております。

詳細につきましてはHPをご覧ください。
<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>

[問合わせ・申込先]
滋賀県医師キャリアサポートセンター
事務担当・相談窓口： 滋賀医科大学病院管理課
住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
TEL：077-548-3656
E-Mail：ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp
担当：北川・奥村

【お知らせ】里親学生支援事業「記念シンポジウム」開催

2018年11月30日

滋賀医科大学『地域「里親」学生支援事業』10周年、認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構設立7周年記念シンポジウムの開催について（お知らせ）

『地域「里親」による医学生支援プログラム』（略称：里親GP）が採択され、平成19年から平成23年まで文部科学省からの補助金を受けて実施し、補助金終了後も、県内医療の担い手育成を支援することを目的に設立された認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構と協力し活動を進め、今年度で10年目を迎えることができました。

つきましては、この度、県内の多くの方々の協力を得ながら医療人の育成に取り組んできた『地域「里親」学生支援事業』の10年を振り返り、今後の滋賀県の医療の担い手、すなわち、医師・看護師育成の取り組みを展望するために、下記のとおりシンポジウムを開催いたします。

参加ご希望の方は、所属・職名・氏名を下記の問い合わせ先まで、メールでお申込みください。〔申込期限12月28日（金）〕

記

1. 日 時： 平成31年2月10日（日） 15時00分～17時00分（シンポジウム）
17時30分～ （懇親会）
2. 会 場： ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター 207会議室（シンポジウム）
ホテルピアザびわ湖 クリスタルルーム 南 （懇親会）
（大津市におの浜1-1-20, TEL 077-527-6333）
3. テーマ： 「滋賀県の医療の担い手は充足しているのか？現状と課題を考える」
4. 基調講演： 滋賀県健康医療福祉部 理事 角野 文彦 氏
5. シンポジウム：
〔シンポジスト〕
滋賀県医師会 理事 木築 野百合 先生
滋賀県看護協会 会長 廣原 恵子 先生
滋賀県病院協会 監事 楠井 隆 先生
6. 企画要旨： 2018年は『地域「里親」学生支援事業』10周年、認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構設立7周年にあたります。認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構では、理事長が創設以来の吉川先生から永田先生へと交代し、新体制での活動が始まっています。
こうした節目を踏まえて、県内の多くの方々の協力を得ながら医療人の育成に取り組んできた『地域「里親」学生支援事業』の10年を振り返り、今後の滋賀県の医療の担い手、すなわち、医師・看護師育成の取り組みを展望するために、シンポジウムを企画いたしました。
7. その他： 懇親会費3,000円（当日、懇親会場にて徴収させていただきます）

【本件に関するお問い合わせ先】

滋賀医科大学 里親学生支援室(学生課内) TEL.077-548-2802

E-mail satooya@belle.shiga-med.ac.jp FAX.077-548-2803

【開催案内】第4回滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会(12/11)

2018年11月26日

滋賀県医師キャリアサポートセンターから、懇談会開催のお知らせです。

参加希望の方は、キャリアサポートセンターまで、氏名・学年を添えてメールで申し込みください。

記

日時：平成30年12月11日(火) 18:00～(1時間程度)
会場：滋賀医科大学 JAMLTリップルテラス3階(外来患者用駐車場南側)
滋賀県医師キャリアサポートセンター室
講師：滋賀医科大学医学部附属病院 麻酔科
赤澤 舞衣 先生
略歴：2007年 滋賀医科大学入学
5年生：SALSA、team滋賀医、家庭医療勉強会に参加
2013年 大学卒業、水戸協同病院(初期研修)へ
2015年 滋賀医科大学麻酔科入局、大学勤務
2017年 小児病院で勤務
2018年 大学に戻る

テーマ：『麻酔科医という選択』

参加費：無料
対象：医学生

医学生からの質問や相談もお受けします。
この機会に気になること、知りたいことを先輩医師にお聞きしてみませんか？
本学以外の医学生の方も大歓迎です。
皆さまのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は下記の連絡先まで、学年・氏名をご記入の上
メールでお申し込みください。電話でも受け付けております。

詳細につきましてはHPをご覧ください。
<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>

[問合わせ・申込先]

滋賀県医師キャリアサポートセンター
事務担当・相談窓口：滋賀医科大学病院管理課
住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
TEL：077-548-3656
E-Mail：ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp
担当：北川・中野

【開催案内】第3回滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会(11/27)

2018年11月12日

滋賀県医師キャリアサポートセンターから、懇談会開催のお知らせです。

参加希望の方は、キャリアサポートセンターまで、氏名・学年を添えてメールで申し込みください。

記

日時：平成30年11月27日(火) 18:00～(1時間程度)
会場：滋賀医科大学 JAMLTリップルテラス3階(外来患者用駐車場南側)

滋賀県医師キャリアサポートセンター室

講師：滋賀医科大学医学部附属病院 精神科
藤井 彰夫 先生

テーマ：『滋賀県で精神医療を志した理由』

参加費：無料

対象：医学生

医学生からの質問や相談もお受けします。

この機会に気になること、知りたいことを先輩医師にお聞きしてみませんか？

本学以外の医学生の方も大歓迎です。

皆さまのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は下記の連絡先まで、学年・氏名をご記入の上メールでお申し込みください。電話でも受け付けております。

詳細につきましてはHPをご覧ください。

<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>

[問い合わせ・申込先]

滋賀県医師キャリアサポートセンター

事務担当・相談窓口：滋賀医科大学病院管理課

住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL：077-548-3656

E-Mail：ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp

担当：北川・中野

学園祭で地域「里親」ブースを設けました

2018年11月2日

10月27日(土)～28日(日)に滋賀医科大学の学園祭(第44回若鮎祭)が開催され、里親学生支援室も、昨年と同様に福利棟の一角で、認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構との合同ブースを設けました。

ブースでは、宿泊研修や卒業後の自分を考える連続自主講座を中心とした活動ポスターの展示を行いました。また、機構広報誌「めでる」等の発行物を配布し、里親学生支援事業の取り組みを広く知っていただけるようPRに努めました。

里親の先生より事前に連絡をいただき、里子との交流の場にもなりました。

両日とも気持ちの良い秋晴れの中開催することができ、たくさんの方にご来場いただきました。



ブースにお立ち寄りいただいた皆さま、ありがとうございました。

【ご案内】学園祭での地域「里親」ブース設置について

2018年10月26日

里親学生支援室では、「学園祭(若鮎祭)期間中に『地域「里親」ブース』を認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構と合同で設け、事業の紹介や活動内容等がご覧いただける写真等の展示を行います。

お時間のご都合がございましたら、是非お越しください。

学園祭チラシ⇒

ブース開設時間

日時：平成30年10月27日(土)10:00~18:00

10月28日(日)10:00~18:00

場所：滋賀医科大学 福利棟1F



第13回「卒業後の自分を考える連続自主講座」を、8月31日(金)に開催しました。

2018年10月4日

「卒業後の自分を考える連続自主講座」を、8月31日(金)滋賀医科大学構内で開催しました。

今回は、滋賀医科大学を卒業し、臨床の現場で活躍されている看護師おふたりから話を伺いました。

榎浪綾花看護師(滋賀医科大学医学部附属病院看護部手術部、看護学科19期生)からは、学生時代から手術部勤務3年目の現在までの道のり、仕事のやりがいや苦勞をお話いただきました。



吉田和寛看護師(滋賀医科大学医学部附属病院看護部 副看護師長、リサーチナース/特定看護師(ICU・救急・麻酔科)、看護学科7期生)からは、看護師になると決めた高校生から現在までのキャリアパス、今後の目標などを、プライベートなお話も交え分かりやすくお話いただきました。



7人の参加学生は、興味のある分野で働く先輩の経験談を熱心に聴いていました。活発な質疑応答の様子もみられ、将来の参考になったようでした。



プチ里親の方から勉強会のお知らせ(11月17日開催)

2018年10月2日

「彦根市の地域医療を守る会」第54回 勉強会

日 時： 平成30年11月17日(土)10:00~11:30

場 所： 彦根市立病院 医療情報センター

テーマ： 軽度認知症障害ってなんですか？

内 容： この頃物忘れやちょっとした困りごとありませんか。

軽度認知症障害とは何か、そのために必要なこと。

講 師： 医療法人 湖葉会 介護部総括所長 野村武司氏

☆詳しくは、こちらをご覧ください⇒

「彦根市の地域医療を守る会」第54回勉強会

♡軽度認知症障害ってなんですか？

内容 この頃物忘れやちょっとした困りごとありませんか。
軽度認知症障害とは何か、そのために必要なこと。

講師 医療法人 湖葉会 介護部総括所長 野村武司氏

記

- 1 日 時 11月 17日(土) 10:00~11:30
- 2 場 所 彦根市立病院 医療情報センター
(北側入り口より入ってすぐ東側の建物)
- 3 参加費 100円 (連絡等の事務費に使います。)
メモ、鉛筆、お茶等ご持参ください。

守る会の応援団の現代のブラック・ジャック佐々木洋先生が、日本の在宅医療を牽引する法人で「グレートカンパニーアワード特別賞」をご受賞。関わるすべての人を幸せにする素晴らしい理念と実行力の佐々木洋先生です。

NISSプロフェッショナル小澤竹俊先生のお勧めで小学生へ「いのちの授業」しました。死を考えることは、幸せに最期まで生き切ることに繋がります。素晴らしい反応で、大成功になりました。

市立病院の小児科の入院中のお子さんに、私の考案の「カラフルアート」の作品づくりをさせていただきました。手術後のお子さんやご家族も笑顔になってくださって喜んでいただきました。

地域医療を守るささやかなご協力ができてよかったです。守る会に参加して学びを深めることが地域医療を守ることですね。今後ともよろしくお願いたします。

彦根市の地域医療を守る会代表 川村啓子

【開催案内】第2回 滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会(10/9)

2018年9月21日

滋賀県医師キャリアサポートセンターから、懇談会開催のお知らせです。

参加希望の方は、キャリアサポートセンターまで、氏名・学年を添えてメールで申し込みください。

記

日 時：平成30年10月 9日(火)18:00～(1時間程度)

会 場：滋賀医科大学 JAMLTリップルテラス3階(外来患者用駐車場南側)
滋賀県医師キャリアサポートセンター室

講 師：滋賀医科大学医学部附属病院 小児科 中嶋 麻子 先生

テーマ：『Going my way. 自分の直感としたいことを大切に。』

参加費：無料

対 象：医学生

医学生からの質問や相談もお受けします。
この機会に気になること、知りたいことを先輩医師にお聞きしてみませんか？
本学以外の医学生の方も大歓迎です。
皆さまのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は下記の連絡先まで、学年・氏名をご記入の上メールでお申し込みください。電話でも受け付けております。

詳細につきましてはHPをご覧ください。

<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>

〔問い合わせ・申込先〕

滋賀県医師キャリアサポートセンター
事務担当・相談窓口：滋賀医科大学病院管理課
住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
TEL：077-548-3656
E-Mail：ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp
担当：北川・中野

長浜市・湖北方面の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました。

2018年9月11日

8月20日(月)・21日(火)に、長浜市・湖北方面を訪問させていただいた夏の宿泊研修には、学生17名(滋賀医科大学医学科第2～5学年8名、看護学科第1～3学年7名、旭川医科大学医学科第4学年1名、滋賀県堅田看護専門学校看護学科第1学年1名)が参加しました。

【1日目】

・渡岸寺観音堂の見学

長浜市高月町の渡岸寺を訪問し、日本全国に7体ある国宝十一面観音の中でも最も美しいとされる観音さまを拝観しました。



・長浜市立湖北病院にて研修

滋賀県で一番北に位置する湖北病院を訪問しました。湖北病院は長浜地域の地域医療の第一線の医療機関で、東野克巳副院長から歓迎のご挨拶をいただき、続いて本学出身の辻本医師から、湖北病院の特徴や医療過疎地区における冬季の積雪の多さなど、熱心にご説明いただきました。

また、地域包括支援センターの宮本社会福祉士から、湖北地域における高齢者の支援状況、介護ニーズの増加に伴う病院や職種を超えた連携の必要性などについてご説明いただきました。

その後、副院長のご案内で、滋賀県最北の診療所である「中河内診療所」を訪問しました。そこはほぼ福井県との県境に位置し、冬季は豪雪に見舞われますが、湖北病院の管理により定期的に診療が行われています。



・長浜町歩き

長浜名物の「鯖そうめん」を堪能し、ボランティアガイドさんの案内で長浜市内を見学しました。曳山博物館、黒壁、大通寺などを見学しましたが、あまりの暑さに、見学終了とともに近くのお店でアイスクリームを頬張っていました。



・交流会

第1部では、藤井勇治長浜市長から、長浜地域の医療行政の状況についてご挨拶いただき、最後に市長から、是非風光明媚な湖北長浜で医師・看護師として活躍していただきたいとお話がありました。



続いて浅井東診療所の松井善典所長から「診療所からみた湖北地域の医療福祉～ケアの協調性をテーマに～」、長浜市健康福祉部健康推進課の横田留里課長から「湖北地域の医療福祉の現状と課題」をご講演いただきました。



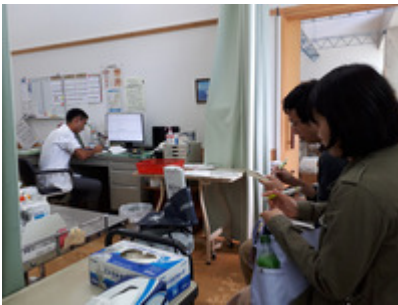
交流会2部では、訪問先の関係者の方々や行政の方々にご参加いただき学生と交流され、貴重な意見交換、懇談の場となりました。



【2日目】

・各診療所での研修

2日目は、医学科学生が永原診療所、塩津診療所、中之郷診療所に分かれ診療所での見学実習を行いました。また、看護学科の学生は湖北病院で3グループに分かれ、ケアマネージャーとしての業務、訪問看護について実習を行いました。



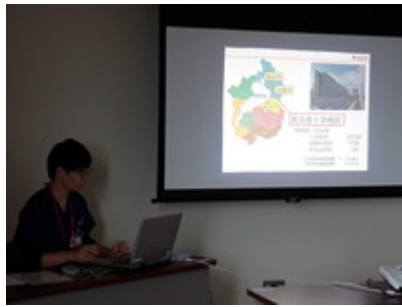
・市立長浜病院

市立長浜病院には、医学科、看護学科それぞれ4名ずつ計8名の学生が訪問し、看護科の草野科長補佐のご案内で病院見学をさせていただきました。その後、医学科と看護学科に分かれ、医学科では本学卒業生の廣坂雄介専攻医と田中葵研修医と、看護学科では若松希看護師と交流会にも参加いただいた齋藤美佑看護師と、それぞれ意見交換を行い、交流を深めていました。



・長浜赤十字病院

長浜赤十字病院には、医学科、看護学科それぞれ4名ずつ計8名の学生が訪問し、塩見尚礼副院長(兼)第一外科部長のご案内で病院見学をさせていただきました。その後、医学科と看護学科に分かれ、医学科では本学卒業生の奥長隼研修医と、看護学科では奥野佐千子副部長、本学卒業生の田村明音助産師と意見交換を行い、交流を深めていました。



今回も、地域の方々をはじめ、たくさんの医療関係者の方々にご協力いただき、地域医療について学びの多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

(この研修は、NPO滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました。)

「第7回滋賀県女性医師交流会」のご案内について

2018年9月10日

標記の交流会について、今年度は「みんなが活躍できる働き方改革」をテーマとし開催させていただきますので、ご案内申し上げます。多数のご参加をお待ちしております。

【主催】滋賀県女性医師ネットワーク会議

【日時】平成30年10月27日(土)
午後2:30～5:30

【場所】滋賀医科大学構内 リップルテラス2階 会議室1
(SUMSコモンズ内)

【基調講演】日本赤十字社医療センター 第一産婦人科部長
木戸 道子先生
演題:「「できない」から「できる」へ変えよう
ーキャリアアップしていくためにー」

【働き方ケースカンファレンス】

「自分や部下が、子育て、介護、病気・・・。
直面した時、あなたはどのようにしますか？」

【対象者】女性医師、男性医師、研修医、病院関係者、医学生ほか
女性も男性も歓迎です。

【参加費】無料

※日本医師会生涯教育制度指定講演会に認定されております。
(CC1:医師のプロフェッショナリズム 2.5単位)

【申込方法】下記の交流会リーフレットよりお申しいただくか、
アドレス(E-Mail:ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp)宛に

- ①お名前(ふりがな)
 - ②所属(病院名等)・職名
 - ③お電話番号
- を明記の上お申込ください。

【詳細】リーフレットはこちらです。

https://sumsdoc.shiga-med.ac.jp/ASTRUX2/ID_guest.aspx?did=118712&fn=

【申込先】滋賀県医師キャリアサポートセンター
(滋賀医科大学病院管理課)

住 所:〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

T E L :077-548-3656

E-Mail:ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp

担 当:北川・中野

【8/31開催】「卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催します！

2018年8月13日

学生の皆さんが、医師や看護師としての自分の将来像を探すことを応援するために、「卒業後の自分を考える連続自主講座」を、下記のとおり開催します。本学を卒業生し、臨床で活躍している看護師の先輩の経験談をとおして、自分自身の将来を考えてみませんか？

記

【講師】

吉田 和寛 看護師(滋賀医科大学医学部附属病院看護部 副看護師長、

リサーチナース/特定看護師(ICU・救急・麻酔科)、看護学科7期生)

榎浪 綾花 看護師(滋賀医科大学医学部附属病院看護部手術室、看護学科19期生)

【開催日】

平成30年8月31日(金)午後4時～6時

【会場】

滋賀医科大学クリエイティブモチベーションセンターCMCホール

【申込み・問合せ先】

興味のある学生さんは、「滋賀医療人育成協力機構(里親学生支援室内)」

(satooya@belle.shiga-med.ac.jp)に参加を申し出てください。

事前に申し込んでいただくと助かりますが、当日参加も大歓迎です。

認定NPO法人 滋賀医療人育成協力機構
TEL:077-548-2802 FAX:077-548-2803
E-mail: satooya@belle.shiga-med.ac.jp

第11回「卒業後の自分を考える連続自主講座」『第4回世界に羽ばたく医師シリーズ』を開催しました。

2018年8月10日

2018年6月24日(日) 滋賀医科大学構内にて、臨床留学のバイブル的存在である『海外医学留学のすべて』(日本医事新報社)など多数出版されている島田悠一先生(コロンビア大学医学部助教、循環器内科臨床指導医、肥大型心筋症センター研究主任)をお招きし、特別講演を行いました。米国医学の現状や日米の研修制度の違い、医師の働き方についてご講演いただき、さらに英語圏出身の模擬患者さんのご協力のもと、学生対象に英語での医療面接実習を行っていただきました。約20名の参加があり、大変盛り上がりました。



地域理解・交流事業「宿泊研修」日程決定（平成30年8月20日～21日開催）

2018年8月3日

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程

～長浜市・湖北方面の医療と歴史・文化を学ぶ～

●8月20日（月）1日目

滋賀医科大学（出発）〈9:00〉

↓

渡岸寺観音堂（見学）〈10:15～11:00〉

↓

湖北病院（説明・見学）〈11:15～13:00〉

↓

成駒家（昼食）・長浜市内町歩き〈13:30～16:30〉

↓

Hotel & Resorts NAGAHAMA（旧：長浜ロイヤルホテル）（交流会・宿泊）〈16:40頃到着〉

17:30～18:30 交流会〈第1部〉講演/意見交換等

・長浜市長 藤井 勇治 氏からご挨拶

・「診療所から見た湖北地域の医療福祉（仮題）」

浅井東診療所 所長 松井 善典 氏

・「湖北地域の医療福祉の現状と課題（仮題）」

長浜市健康福祉部健康推進課 課長 横田 留里 氏

18:45～20:45 交流会〈第2部〉学生報告会/懇談/会食

20:45～ 学生交流会

●8月21日（火）2日目

Hotel & Resorts NAGAHAMA（出発）〈8:30〉

↓

永原診療所・塩津診療所・中之郷診療所・湖北病院（各班に分かれて研修）〈9:30～12:00〉

↓

レストランおりひめ（昼食）〈12:30～13:15〉

↓

長浜赤十字病院・市立長浜病院（各班に分かれて説明・見学）〈13:30～15:30〉

↓

滋賀医科大学（解散）〈17:00頃〉

↓

瀬田駅（希望者ありの場合）

里親登録学生と里親学生支援室員の顔合わせ(懇談会)を行いました

2018年6月19日

6月11日(月)の昼休みに、里親登録学生18名(新登録学生11名を含む)と里親学生支援室員との懇談会を、CMC(クリエイティブモチベーションセンター)ホールで開催しました。

初めに室員や事務スタッフ、学生の自己紹介が行われ、その後、埜田室長から里親学生支援事業の概要や、今年度の事業計画について具体的な説明がありました。また、夏期休暇中に実施する長浜市・湖北方面での宿泊研修について、訪問先の紹介があり、学生へ「調整して参加できるように」との呼びかけがありました。

学生からは、「里親制度を知るきっかけが、宿泊研修となっているので、里親制度の情報を工夫して周知してほしい」「宿泊研修では、医学科生と看護学科生と一緒に病院見学ができるので、普段と違った目線で勉強できる」「里親の先生によって、連絡が付き難いなど対応の温度差があるので困る」などの意見がありました。



アンプロフェッショナル学生に係る対応策に関するFD・SD研修会を実施しました

2018年6月19日

去る5月30日(水)16時30分から、近年医学教育上大きな問題となっている、アンプロフェッショナル学生への対応策についてのFD・SD研修会を実施しました。

今回の研修会は、京都大学大学院医学研究科医学教育・国際化推進センター准教授の錦織宏先生を講師に招き、「武士道とプロフェッショナリズムと等価交換モデル」と題して講演いただきました。

当日は、学外から6名の指導者の先生方を含め約100名の参加者があり、また終了後には多数の質問や意見交換があり、平素から問題となっている今回のテーマに関する研修会への関心の高さが伺えました。



【開催案内】第1回 滋賀県医師キャリアサポートセンター懇談会(7/5)

2018年6月11日

滋賀県医師キャリアサポートセンターから、懇談会開催のお知らせです。

参加希望の方は、キャリアサポートセンターまで、氏名・学年を添えてメールで申し込みください。

記

日 時：平成30年 7月 5日(木)17:00～(1時間程度)

会 場：滋賀医科大学 JAMLTリップルテラス3階(外来患者用駐車場南側)
滋賀県医師キャリアサポートセンター室

講 師：滋賀医科大学 医師臨床教育センター副センター長 山原 真子先生

テーマ：『これから医師として働く皆さんへ
－自分らしい“キャリア”を築くために－』

参加費：無料

対 象：医学生 【当日参加も、大歓迎です】

医学生からの質問や相談もお受けします。
この機会に気になること、知りたいことを先輩医師にお聞きしてみませんか？
本学以外の医学生の方も大歓迎です。
皆さまのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は下記の連絡先まで、学年・氏名をご記入の上
メールでお申し込みください。電話でも受け付けております。

詳細につきましてはHPをご覧ください。

<http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>

〔問い合わせ・申込先〕

滋賀県医師キャリアサポートセンター

事務担当・相談窓口：滋賀医科大学病院管理課

住所: 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL: 077-548-3656

E-Mail: ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp

担当: 北川・中野

近江八幡・沖島方面の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました

2018年5月29日

3月14日(水)・15日(木)に、近江八幡・沖島方面を訪問させていただいた春の宿泊研修には、学生20名(滋賀医科大学医学科第1～4学年11名、看護学科第2～3学年8名・旭川医科大学医学科3年1名)が参加しました。

【1日目】

・沖島への訪問

琵琶湖最大の島で、日本で唯一、淡水湖に浮かび、人が暮らしている沖島を訪問し、沖島の自然と文化、医療体制等を見学しました。

まずは、漁港近くに停泊している消防艇を見学後、消防団の廣田さんから急病人の救急搬送についてお話いただきました。

高齢化が進む250名の島民の方々の健康維持のために、コミュニティセンター内の診療所(週に1回開所)を拠点とし、2年前から平日は島に常駐勤務されている近江八幡市健康推進課の中嶋看護師から、日々の活動についてお話を聞きました。

続いて、西福寺の茶谷住職に島内を案内していただき、お寺で島の歴史をお話いただきました。

昼食では、島の特産品を使ったお弁当をいただいた後、島を後にしました。



・近江八幡市立総合医療センター

宮下院長から病院概要について説明を受けた後、開院後10年以上が経過しているとは思えないほどきれいで清掃の行き届いた院内を見学させていただきました。

自然の光と庭木の緑をうまく取り入れた明るい病棟や、そこで勤務する者の動きやすさを考慮された施設設計と、入院する患者の気持ちを配慮された病室を見学させていただいた後、現在活躍されている医師・看護師の方々からお話をうかがうことができました。



・交流会

第1部では、近江八幡市長寿福祉課 社会福祉士 山岡昌代氏から「在宅医療の現状と課題 ～多職種連携の現場から」、ヴォーリス記念病院 ミツ浪健一先生から「地域包括ケアと在宅医療支援病院について」ご講演いただきました。

交流会2部では、訪問先の関係者の方々や行政の方々にご参加いただき貴重な意見交換、懇談の場となりました。



【2日目】

・近江八幡市内の散策

八幡山のふもとに建つラコリーナ近江八幡、時代劇のロケ地としてお馴染みの八幡堀、日牟禮八幡宮、市内に点在するヴォーリス建築の数々を、ボランティアガイドに説明していただきながら散策しました。



・ヴォーリス記念病院

周防院長と澤谷副理事より、病院概要について説明を受けました。続いて、ホスピス希望館の高橋医師から学生へ、患者の辛さを想像し共感する力、今を精一杯生きる大切さについてお話いただきました。

その後、院内や、礼拝堂、昨年事業を開始された看護小規模多機能居宅介護 友愛の家ヴォーリスを見学させていただきました。ヴォーリス病院では、各種の在宅介護サービス事業が有機的に連携し、高齢者へのシームレスなケアを総合的に提供されています。今後も住み慣れた地域やご家庭で日常生活が営めるよう、在宅医療にも積極的に取り組んでおられます。



今回も、地域の方々をはじめ、たくさんの医療関係者の方々にご協力いただき、地域医療について学びの多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。



里親学生支援事業としての7回目の卒業生を送り出しました

2018年5月29日

平成30年3月9日(金)に平成29年度滋賀医科大学卒業式が挙行され、里親学生支援事業としては、7回目の卒業生(医学科8名、看護学科3名)を送り出しました。

学生達が、それぞれの新しく進む道で活躍し、また、今度は自分たちが里親となり、後輩たちを支援してくれればと期待しています。



2月8日開催「里親・プチ里親」対象FD研修会・意見交換会

2018年5月29日

研修会では、滋賀医科大学臨床教育講座 辻喜久准教授から「医学教育分野別評価を受審して」と題して、昨年11月に受審した、日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価の報告と、滋賀医科大学の対応について講演いただきました。

引き続き和やかな雰囲気の中、出席者の自己紹介などを含め意見交換や懇談が行われました。

滋賀医科大学地域里親支援事業として、里親(県内で活躍されている医療従事者)・プチ里親(地域の皆様)・里子(この制度の登録学生)が交流し、医療人としての心構え、地域医療の現状などを伝える場として毎年1回開催しています。



第10回「卒業後の自分を考える連続自主講座」『地域医療が面白いーポ

2018年5月29日

クがこの道を選んだ理由ー』を開催しました。

学生の皆さんが、医師や看護師としての自分の将来像を探すことを応援する「卒業後の自分を考える」連続自主講座を、11月28日(火)滋賀医科大学小教室において開催しました。

今回の講師には、滋賀県で地域医療に携わる、切手俊弘先生(彦根市立病院)と中村琢弥先生(弓削メディカルクリニック)をお迎えし、学生時代から現在までの歩み、仕事のやりがいなどをお話いただきました。

17名の参加者からは、「視野が広がったと感じる」「有意義な時間になった」などの声がありました。また、多くの質問があり、関心の高さがうかがえました。



きってとしひろ

「切手 俊 弘 先生(彦根市立病院 診療局主任部長(在宅医療担当))」

私は鹿児島県の出身で、医療ドラマやマンガの影響で医師を目指しました。大分大学医学部を卒業し、母校の消化器外科に入局。総合病院で3年間勤務、内視鏡検査を中心に学びました。その後九州のいくつかの病院で研鑽を積んでいる時期に、高齢者や褥瘡(床ずれ)を診ることが多くあり、外科医として何ができるか考えはじめました。高齢者ケアに、創傷治癒(褥瘡、胃ろう、ストーマ)の必要性を感じ、研究したいと思いました。大分ストーマ創傷ケア勉強会を立ち上げ、毎月開催しました。これは現在も続いており、今でも年1回は出席しています。

10年勤めた母校の医局を辞め、岡山の診療所で働くことになりました。ここでは外来(内科)・検査(内視鏡)・透析・訪問診療をしました。外科から内科に転身し、訪問診療を学びました。在宅の褥瘡(床ずれ)について考え、日本褥瘡学会在宅ケア推進協会の活動をしました。

その後ご縁があり、滋賀県の彦根市立病院で、再度外科医として働くことになりました(外来・手術・救急対応)。院長から在宅医療の提案をうけ、在宅医療支援室を新設。現在は医師として行政にも携わっています。医療・介護連携フォーラムや多職種の研究會、褥瘡学会の開催など、興味はつきません。滋賀は地域で活性化しようとする、素晴らしい場所だと感じています。

最後に学生さんへ。どの道へ行っても、いろいろなことができます。今、これをやろうと決めることは素晴らしい。ですが途中で方向が変わっていくことも人生。人のご縁を大事にしてください。



なかむら たくや
「中村 琢弥 先生(弓削メディカルクリニック 滋賀家庭医療学センター 教育部門担当
指導医・診療部門長)」

滋賀医大医学科27期生で、卒業後10年がたちました。診療所のお医者さんに憧れていましたが、卒業後スムーズに診療所医師になるためのキャリアパスはありませんでした。

尊敬する先生からファミリーメディスン(家庭医療)の領域が自分の理想の医師像に近いことを聞き、家庭医療学に触れられる京都民医連中央病院を初期研修に選びました。後期研修は京都家庭医療学センターでトレーニングを積み、家庭医療専門医を取得しました。その後、北海道家庭医療学センターに所属し、2年間更別村国民健康保険診療所の副所長として勤務。指導医の資格を取得しました。

現在は、滋賀に戻り竜王町にある弓削メディカルクリニックで勤務しています。家庭医・総合診療医として臨床と、教育、経営マネージメントを三等分したような形で仕事をしています。在宅関係の執筆活動もしています。

働きながらさらに勉強したいと思い、今年の春Johns Hopkins University公衆衛生大学院修士課程に入学しました。年に1週間のスクーリング以外完全オンラインで学習中です。課題も多く大変ですが、充実した自己成長の日々です。

2人の子どもの父親として、家族との時間も大切にしてきました。ワークライフバランスは取れている方だと思います。家族との時間が豊富なことがこの業界にきて良かったことの1つだと思っています。

苦しいこともありましたが、頑張ってきたことが身について、今自信になっています。これからも滋賀や関西で、地域医療の発展に貢献したいと考えています。



~~~~~  
参加学生から多くの質問がありました。いくつかご紹介します。

Q 地域医療・総合診療に興味のある場合、最初は総合診療に進むべきか？他の科に進むべきか？

A どちらが先でもいいと思う。先のことは考えすぎず、興味のあることをすることが将来につながるかもしれません。(切手先生)

Q 簡単に職場を変わるものか？

A 医局に所属してないので、今までの経歴はすべて自分で決めてきたが、珍しいことなのかもしれません。(中村先生)

A 自分の生き方、環境を変えるのは大変なことだが、自分次第で道は開けると思う。(切手先生)



Q 訪問診療 公立病院と診療所の違いを教えてください。

A 診療所は入院施設がないので、病院へいかに円滑に患者さんにとってよい療養環境に引き継げるかが大事。(中村先生)

A 公立病院が訪問診療をする最大の目的は、地域のかかりつけ医へのヘルプだと思う。診療所の先生との連携がミッション。彦根市立病院では、開業医の先生がもっと訪問診療できるように、後方支援できる道を作ろうとしている。(切手先生)

Q 地域の診療所に勤務しながら、中村先生がJohns Hopkins University公衆衛生大学院へすすまれたのはなぜ？

A 3つの理由からです。

1 地域を広く見る視点を、確かな形で身につけることが、地域の方の健康にダイレクトに反映されると感じ、さらに公衆衛生を勉強することが大切だと思った。

2 家庭医療をしている医師は日本の中でまだ少ない。やっていることを学問として発信していくことが大切で、きっちり発信できる能力が必要と思った。

3 興味があることを勉強するのはとても楽しい。チャンスがあれば絶対やりたいと思っていた。準備に3年かけた。

Q 学生時代に経験した方がよいことは？

A 私は家庭教師以外のアルバイトをした。スキーバスの添乗員を2年位。苦情処理で頭を下げたり、今思うととても役に立った。

浪人留年などをして、友達が増えた。逆境を生かす、こういう考え方も大事かも。

阪神淡路大震災での布団干しのボランティアをした。こういう経験もよかったと思う。(切手先生)

A 学生最大の強みは時間。いろんなチャレンジができる。社会勉強、語学、IT、、、どんなことでも一生懸命した経験は絶対役に立つ。(中村先生)



## 滋賀医科大学学園祭『若鮎祭』において、里親学生支援室の活動内容

2018年5月28日

### 等を展示しました。

滋賀医科大学学園祭(第43回若鮎祭)が10月28日(土)～29日(日)に開催され、里親学生支援室ではNPO滋賀医療人育成協力機構との合同ブースを設けました。

ブースでは、宿泊研修や卒業後の自分を考える連続自主講座を中心としたポスターの掲示等を行いました。

また、機構広報誌「めでる」等の発行物を設置し、里親学生支援事業の取り組みを広くPRするよう努めました。

ブースにお立ち寄りいただいた皆さま、ありがとうございました。



## 大津・湖南地域の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました

2018年5月28日

8月22日(火)・23日(水)に行いました大津・湖南地域への夏の宿泊研修には、滋賀医科大学学生13名(医学科1～4年7名、看護学科2～4年6名)が参加しました。

8月22日(火)一日目

### 1、びわこ学園医療福祉センター草津

びわこ学園医療福祉センター草津は、重度の知的障害、肢体が不自由な方など障害が重く、全面的な生活介護を要するだけでなく、医療の支えを必要とされている方々の生活を支えている医療型障害児入所施設・療養介護事業所であると同時に病院でもあります。宿泊研修としては初めて今回訪問し、説明を聞くとともにセンター内を見学させていただきました。

スタッフは多数の看護職員、生活支援員のほか、医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、語学聴覚士、心理判定員、ケースワーカーなどの専門職の方々がおられ、力を合わせて重い障害のある方々の生活を支えておられます。

施設内のいたるところに貼ってある「本人さんはどう思てはるんやろう・・・」というポスターや、職員が手作りされた介護のための補助器具から、介護をされている方の気持ちを推し量る職員の温かさが伝わってきました。



### 2、済生会滋賀県病院と草津総合病院

湖南地域の中核病院である済生会滋賀県病院と草津総合病院を、バスの車窓から見学しました。

### 3、滋賀県庁

健康医療福祉分野において滋賀県民が心身ともに健康な生活がおくれるように、また病院、医師研修医のサポートをしていただいている滋賀県庁健康医療福祉部を訪れ説明を聞くとともに、県庁内を見学させていただきました。とくに、初めて県議会がおこなわれる会議場に入れていただいた学生達の目は輝いていました。



#### 4、三井寺と大津歴史博物館

大津市の中心街にある三井寺の境内を散策ののち、隣接する大津歴史博物館を訪れました。

昔から交通の要地であったことから発達していった大津地域の歴史と文化の足跡を、写真や資料により知ることができました。



#### 5、交流会

近江神宮内の近江勸学館において交流会を開催しました。ちなみに、近江神宮は毎年「カルタ」の全国大会が行われる場所で「ちはやふる」の撮影舞台となった場所です。

交流会1部では、「大津市の訪問看護の実情」と題して、大津市民病院 訪問看護認定看護師 和田幸子さんから訪問看護師の役割について、「在宅医療における全人的アプローチ」と題して、在宅医療を実践されている西山医院長 西山順博医師からこれからの高齢化社会を取り巻く課題と、大津市での地域連携の取り組みについて講演いただきました。

交流会2部は、参加いただいた方々の和やかな意見交換、懇談の場となりました。



8月23日(水)二日目

#### 1、比叡山



宿泊先の近江勸学館を徒歩で出発し、京阪電車、坂本ケーブルを乗り継ぎ比叡山に登りました。

東塔では根本中堂、阿弥陀堂等を見学し、横川にある滋賀医科大学慰霊墓地にお参りしました。

横川駅から大学慰霊墓地までの所要時間は徒歩で約30分ですが、思っていたほど暑くもなく、

下界の琵琶湖を眺めながら、のんびりと歩きました。



## 2、大津赤十字病院

大津赤十字病院を訪問し病院の概要と、災害拠点病院としての役割について説明後、東日本大震災時の石巻赤十字病院の活動記録ビデオを見せていただいた後、病院見学をさせていただきました。特に災害時の備蓄品が整然と置かれている倉庫には驚かされました。

最後に、滋賀医科大学を卒業後大津赤十字病院で勤務されている先輩との懇談の場を設けていただき、学生達は話が盛り上がっていました。



今回も、多くの医療関係者の方々にご協力いただき、学生達は学び多い研修ができました。

お世話くださったみなさま、ご多用のところ誠に有難うございました。

(この研修は、NPO滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました。)

## 2018年度 事業計画

2018年5月18日

4月～5月 新入生に対して、参加登録の募集を行う。

5月 参加登録希望学生の属性や希望事項等の調査を行う。

5月30日(水) 教職員向けのFD研修会を開催する。

(滋賀医療人育成協力機構と協同で開催)

- 6月 学生と「里親」をマッチングさせる。
- 6月 里親学生支援室員と学生との懇談会を行う。
- 8月 夏期宿泊研修を実施する。  
(滋賀医療人育成協力機構と協同で実施)
- 10月27日(土) 若鮎祭(学園祭)開催時に滋賀医療人育成協力機構と協同で  
~28日(日) 『地域「里親」ブース』を開設し、取組事業のPRを行う。  
里親、プチ里親と学生との交流の機会ともする。
- 10月 医学科学士編入生に対して、参加登録の募集を行う。
- 秋季 里親学生支援事業10周年記念講演会を開催する。
- 1月 「里親」「プチ里親」向けの  
FD研修会・意見交換会を開催する。  
(滋賀医療人育成協力機構と協同で開催)
- 3月 春期宿泊研修を実施する。  
(滋賀医療人育成協力機構と協同で実施)
- 3月 次年度の計画をたてる。
- 通年 県内出身自治医大同窓会主催の家庭医体験学習に参加する。
- 通年 卒業後の自分を考える連続自主講座を実施する。  
(滋賀医療人育成協力機構と共催で実施)

## 2017年度 活動実績

2018年5月16日

平成29年 4月 1日 里親学生支援室(継続設置)における新年度業務を開始

平成29年 4月 6日 1年生に対し、新入生オリエンテーションで  
～5月下旬 広報誌等を配布して参加学生を募集

平成29年 4月25日 里親学生支援室だより No.18発行

平成29年 5月30日 里親学生支援室会議開催

平成29年 6月 2日 卒業後の自分を考える連続自主講座(第9回)を  
滋賀医療人育成協力機構と協同で開催  
参加者数 4名

平成29年 6月 5日 里親学生支援室員と参加希望学生との懇談を実施  
支援対象学生の確定・支援内容の具体的説明・学生の  
属性や希望事項等の調査

平成29年 8月22日～23日  
宿泊研修「大津市・草津市方面の医療と歴史・文化を学ぶ」を  
滋賀医療人育成協力機構と協同で実施  
参加者数 学生14名  
教職員9名(内、機構職員2名)

平成29年 9月29日 里親学生支援室だより No.19発行

平成29年10月 医学科学士編入生に対して、参加登録の募集を行う

平成29年10月28日～29日  
若鮎祭(学園祭)開催時に「里親学生支援室ブース」を  
滋賀医療人育成協力機構と合同で開設

平成29年11月28日 卒業後の自分を考える連続自主講座(第10回)を  
滋賀医療人育成協力機構と協同で開催  
参加者数 17名

平成29年12月12日 里親バンク登録の「里親」と参加学生とのマッチング決定

平成29年12月21日 里親学生支援室会議開催

平成30年 2月 8日 里親・プチ里親対象の「FD研修会・意見交換会」を開催

参加人数 15名

平成30年 3月14日～15日

宿泊研修「近江八幡市・沖島方面の医療と歴史・文化を学ぶ」を

滋賀医療人育成協力機構と協同で実施

参加者数 学生20名

教職員15名(内、機構職員2名)

## プチ里親の方から勉強会のお知らせ(6月16日開催)

2018年5月10日

「彦根市の地域医療を守る会」第52回 勉強会

日 時: 平成30年6月16日(土)10:00～11:30

場 所: 彦根市立病院 医療情報センター

テーマ: その人らしく生きる～幸せな最期を迎えるために～

内 容: ご本人やご家族が少しでも悔いの残らない最期を  
お手伝いさせていただきたい思いについて。

講 師: 彦根市立病院訪問看護ステーション 池崎潤子氏

☆詳しくは、こちらをご覧ください⇒

### 「彦根市の地域医療を守る会」第52回勉強会

#### ♡ その人らしく生きる

#### ～幸せな最期を迎えるために～

内容: ご本人やご家族が少しでも悔いの残らない最期を  
お手伝いさせていただきたい思いについて。

講師: 彦根市立病院訪問看護ステーション 池崎潤子氏



- 記
- 1 日 時 6月 16日(土) 10:00～11:30
  - 2 場 所 彦根市立病院 医療情報センター  
(北側入り口より入ってすぐ東側の建物)
  - 3 参加費 100円 (連絡等の事務費に使用します。)  
メモ、鉛筆、お茶等ご持参ください。

彦根市の地域医療を守る会50回記念フォーラム。滋賀の地域医療の希望の  
星の中村善之先生と東京から現代のブラックジャックの佐々木博先生がご講演  
くださいました。友情出演では、情熱大陸ご出演の奈良から川島英先生と伊吹  
のレジェンド知野英樹先生もご出演くださって、金子隆昭院長先生や松木明先  
生や池崎潤子氏。日本のトップランナーの超豪華なメンバーに皆さんが感激さ  
れていました。彦根市の地域医療を守る会がコソコソと信用や信頼を積み重ね  
てきた結果、最高のメンバーで最高のフォーラムになりました。皆様のご協力  
のおかげです。ありがとうございます。幸せな最期を生き切るためには、日頃  
の生き方に答えがあるようです。現代のブラックジャックの佐々木博先生のお  
話聴き、参加の皆様も感動で人生最高の日になられたようでした。これか  
ら守る会で学びを深めて広めていきたいと思います。みんなの幸せのために。

彦根市の地域医療を守る会代表 川村啓子

フォーラム大成功を全うし、改めて現代からブラックジャックの佐々木博先生は最高です